ニューデンタルリサーチ 太田 茂幹

所の挑戦

る。これまでは場所を借り 席のセミナールームがあ 地面積3492・56㎡で、 て行っていた勉強会が自社 1階が技工室、2階には63 面積は1160・8m、敷 での営業を開始している。 た。4月1日からは新社屋 新社屋は2階建て。延床 までとは違う技術習得も必

れている。 綴物の製作・提供が求めら を駆使した高精度な歯科補

や機材、材料といったこれ 法が開発され、最新の製法 を活用した新しい製作・技 システムや3Dプリンター

近年ではCAD/CAM 須となっている。 り、歯科技工士を志す若者 技工士は高齢化が顕著とな しかし、その一方で歯科

るのが、低賃金、長時間労 不足が危惧されている。 その理由として挙げられ

ある。当社は、そのための 業界全体で取り組む必要が である。この問題解決には 社会的地位の低さなど

が減少し、養成学校の閉校 が相次ぐなど、今後の人手

労働環境の用意、また何の 取り組みとして、より良い ために仕事をしているのか

た。 という答えが必要と考え

働時間の短縮を図ってい ステイトメントを設定、会 している。 を全社員で共有するように 社が目指す方向性や価値観 る。さらに、コーポレート つ、製作時間短縮による労

リエーション』。 康へとつながるデンタルク 『人の食と美と未来の健

最新設備を導入し、製作物 のクオリティーを担保しつ Mや3Dプリンターなどの そのためにCAD/CA というのを明文化したもの のQOLの向上に寄与する サービスを使って食事の楽 的責任・貢献として、歯科 接的に届けられる補綴物や 医師を通して患者さんに間 しさ、思いっきり笑うなど この言葉は、当社の社会

といえる。 れに勝る喜びはないと思っ れば、歯科技工士としてこ 事である。これを体現でき らつくり出せる誇りある仕 人一人の笑顔を、「歯」か 歯科技工は、患者さん一

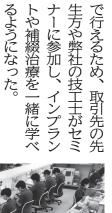
食と美と健康を作る仕事

科医療レベルの向上を図

地域医療に貢献する」。

「働きやすい環境で、歯





迎えた。記念事業として、

し、2020年で40周年を 当社は昭和55年に創業

る。患者のニーズに応える ニーズは一層高まってい 全な医療サービスに対する の影響等により、安心・安 向上、新型コロナウイルス べく、歯科技工士には技術 少子高齢化や医療技術の



は、現場の歯科技工士も参

のためのミーティングに 目指した新社屋を建設。そ より良い労働環境づくりを

加し、アイデアを出し合っ





